富士市教育委員会　１１月	定　例　会 臨　時　会	会　議　録 （令和４年）

開催日	会議場
令和４年１１月２２日　火曜日 開　会　　１４時３０分 閉　会　　１５時２２分	富士市立高等学校 ２階　PIR room

出席委員の氏名

教　育　長	森　田　嘉　幸	委　　員	松　田　靖　子
教育長職務代理者	和久田　惠　子	委　　員	塩　谷　知　一
委　　員	篠　原　　均		

出席職員等の氏名

教育次長	江　村　輝　彦	教育研修・特別支援教育ｾﾝﾀｰ所長	川　崎　里　恵
教育総務課長	味　岡　俊　雄	青少年相談ｾﾝﾀｰ所長	川　口　壽　彦
学校教育課長	齋　藤　文　徳	博物館長	植　松　良　夫
富士市立高等学校長	櫻　井　祥　行	教育総務課調整主幹	小長谷　　聡
学務課長	榎　　俊　英	教育総務課参事補	吉　村　直　也
社会教育課長	吉　田　和　洋	教育総務課指導主事	米　田　一　也
文化財課	久保田　伸　彦	教育総務課指導主事	山　田　英　雄
中央図書館長	大　川　英　子		傍聴人　なし
富士市立高校事務長	青　木　　洋		

開会

会議録の承認

教育次長の報告要旨

教育次長	○市議会 11 月定例会について ・市議会 11 月定例会が 11 月 24 日から 12 月 9 日までの日程で開催される。本会議には、教育費 11 月補正予算案及び富士市立学校設置条例の改正案等を上程する。 ・一般質問の提出期限が 11 月 25 日となっている。教育委員会関係の質問に対する答弁要旨については、来月の教育委員会会議にて資料提供する。 ・11 月補正予算に、物価高騰への対策の一環として、学校給食費の保護者負担軽減を目的とした補助金交付を考えている。学務課長から説明させていただく。
（説明） (質問･意見等) （回答）	○学校給食費保護者負担軽減事業補助金について ・学務課長 →補助金を配るのか、それとも徴収金額を減らすのか。また未納の方への対応はどのようにするのか。 →補助金は小中学校の児童生徒数に応じて、学校に交付する。学校はその補助金で給食の食材を購入する。そのため、補助金に相当する分の

	金額を保護者からの徴収額から減額する。未納の方への対応は、保育園の給食も同様の補助金の交付を行うので、保育幼稚園課と連携を取りながら検討する。
議題（動議）及び議事の大要	
報第 10 号	○令和４年度富士市教育長表彰受賞者の決定について
（説明）	・教育総務課長
(質問･意見等)	→善行部門のボランティア等は、長期間、継続的に実施している方がいるのではないか。そのような方を紹介することも大事だと思う。過去の善行部門の表彰者を教えてほしい。
（回答）	→善行部門の受賞者は平成30年度に二人いた。教育長表彰については他にも課題があり、検討している最中である。部活動を地域移行した場合や、候補者の推薦方法など、調査検討する。
（回答）	→現在、学校の教育活動の一環の延長であるということが１つの条件である。ただこれを外すと教育長表彰ではなく市長表彰相当となってしまう。そのため教育長表彰として、教育的視点が必要となるので簡単にこの条件を外せないという考え方もある。福祉的なことやボランティア的なことを積み上げていく子どもたちにも視野を広げることも検討する必要がある。
(質問･意見等)	→富士市在住であっても県立高校、私立高校に在籍していると対象外となる。本当は富士市在住の子どもたちはいいことをしたら表彰したいと思うので、何か解決策があれば、検討してほしい。
（回答）	→以前は別の課で所管しており、県立高校、私立高校であっても表彰の対象だった。ただ、当時はスポーツのみ、全国で８位入賞が基準であった。しかし、文化の部やボランティア活動なども表彰しようとなり、現在の制度となった。できる限り、実情に合った形で、表彰できる形にしたい。
(質問･意見等)	→スポーツの基準が全国規模の大会に出場となっており、他の部門で推薦しにくくなっているのではないか。いろいろな方を推薦してもらい、審査会の中で議論した方が活性化すると思う。スポーツと芸術は基準がはっきりしているが、極端な話、善行部門では各校一人ずつ推薦するなどできると思う。毎年、一生懸命やっている、他の生徒の見本になるような人を一組くらい表彰してほしいと思うので検討していただきたい。
（了承）	→了承
報第 11 号	○令和５年度富士市立高等学校入学者選抜募集定員について
（説明）	・教育総務課長
(質問･意見等)	→富士市立高等学校の定員について、決定の過程を説明してほしい。

（回答）	→市教育委員会が内申を県教育委員会にあげ、各県立高校と一緒に公表する。
(質問･意見等)	→富士市立高等学校の定員はこの数年間で変化はあったのか。
（回答）	→ビジネス探究科が２クラス、スポーツ探究科が１クラス、総合探究科が３クラス、定員240人というのは、平成23年４月の開校当初から変わっていない。
(質問･意見等)	→クラス替えはどの程度行っているか。
（回答）	→各科ごと、進路希望、科目選択等を基に行っている。
(質問･意見等)	→ここから10年先は顕著に子どもの数が減少する。今後の展望を考えていく必要がある。これからの方が大変な課題が多くなる。富士市民としては募集定員維持と富士市に戻ってくるような人材育成を担う高校であってほしい。
（了承）	→了承
各課等の報告・予定事項	
閉会	